



加賀谷 悦子 Shoda-Kagaya Etsuko
森林昆虫研究領域

近年、日本に侵入したクビアカツヤカミキリという昆虫が日本の春を彩るウメ、モモ、サクラなどのバラ科植物を加害しています。このカミキリムシは、もともと中国を中心に、北はロシアから南はベトナムまで広く分布しており、2010年を過ぎた頃、日本、ドイツ、イタリアに侵入してしまいました。幼虫が樹皮下を食い荒らすため、木は水や養分を吸い上げられず、食われた所より上が枯れていきます①。多くの幼虫が木に入ってしまったのを放置すると、数年以内に木全体が枯れてしまいます。

成虫②は6月と7月に見られ、それ以外の時期には幼虫や蛹が木の中に潜って暮らしています。幼虫は樹皮に穴をあけて、そこからフラスと呼ばれる木屑と糞のまざったものをたくさん出します③。サクラ並木やモモ・ウメ園で木の下に大量のオレンジ色のフラスがあったら、木の中にこの虫がいますので、すぐに対策

サクラ等を食い荒らす外来昆虫 クビアカツヤカミキリの生態と防除

をしなければなりません。成虫には薬剤散布をして殺虫したり、木に網をかけて木から脱出しても拡散しないように封じ込めたりします。幼虫は木から掘り取ったり、フラスを出す穴に薬剤を入れたりします。木全体に薬を行きわたらせる樹幹注入という方法も大変有効です。被害を広げないためには、その木を伐ってしまうのが、いちばん確かな防除です。

(2020年2月14日開催講座より)



②クビアカツヤカミキリの雌成虫



①被害初期に見られるサクラの枝枯れ



③食害痕(右)と樹下のフラス(左)

令和3年度 森林講座のお知らせ

多摩森林科学園での実開催とYouTube「森林総研チャンネル」での動画公開を予定しております。動画公開分は遠方の方でもご覧になれますのでお楽しみに！

開催

9月14日(火曜日)
「知っているの木造建築が
おもしろくなる集材材とCLT」
平松 靖(複合材料研究領域)

10月15日(金曜日)
「アロマでいっぱい森の土」
森下 智陽(東北支所)

11月5日(金曜日)
「大気からの窒素流入が多い
森林の渓流水」
小林 政広(立地環境研究領域)

動画公開

7月公開
「気候変動でスギの成長は
増える？ 減る？」
齊藤 哲(関西支所)

12月公開
「針葉樹が明かす光合成の進化」
宮澤 真一(樹木分子遺伝研究領域)

1月公開
「長生きのこ「サルノコシカケ」の秘密」
服部 力(研究ディレクター)

2月公開
「ナノのちからで木材を長く美しく」
石川 敦子(木材改質研究領域)

会場●多摩森林科学園 森の科学館
時間●13時15分～15時

お申込の受付は各講座開催日の前月の1日から。受付は先着順で、講座開催日の1週間前が締切となります。ご希望の講座名・郵便番号・住所・氏名・電話番号・参加希望者数をご記入の上、往復はがき、または電子メールでお申し込みください。お申込1通に対し、1講座3名までの受付とさせていただきます。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況によっては、講座を中止する場合があります。最新情報はホームページをご確認ください。

◆お問い合わせ

〒193-0843 東京都八王子市廿里町1833-81
多摩森林科学園
電話番号:042-661-1121
HP: <https://www.ffpri.affrc.go.jp/tmk/index.html>
E-mail: shinrinkouza@ffpri.affrc.go.jp



▲森林講座申込み

▼YouTube「森林総研チャンネル」

<https://www.youtube.com/c/FFPRIchannel>